

植物工場の環境制御における原理と考え方

2020年1月30日(木) 1日間

植物工場の環境制御は、環境を通じて植物の生理機能を制御し、栽培的に有利な結果を導き出すための手段です。したがって、常に最大の効果を得るための努力をする必要があります。本研修はそのための基礎を身につけるための講座です。事例紹介よりも原理的な説明を優先しますので、自分自身で考えながら制御するのに必要な能力を身につけるための助けになるでしょう。

◆ 講座の狙い

- ・植物工場のエネルギー解析について詳しく学ぶ
- ・効率的なCO₂施用技術について学ぶ。
- ・気化冷却技術について詳しく理解する
- ・DM-ONEの制御について知る



太陽光型植物工場

◆ 募集要項

【受講対象】 温室や植物工場の環境管理の合理化に必要な知識を身につけたい方。

事例紹介よりも制御の考え方を身につけたい方。

植物の光合成と発達を考慮した温室環境制御について知りたい方。

【受講場所】 千葉大学環境健康フィールド科学センター 植物工場研修棟A棟1階 研修室

【受講費用】 20,370円/人(消費税、教材費等込)

【募集人数】 20名程度

【講座責任者】 狩野 敦 (株式会社ダブルエム 代表取締役社長)

【申込方法】 植物工場研究会ホームページの申込専用フォームからお申込みください。

*ご登録のメールアドレスに、「申込受付完了」メールが自動送信されます。

メールが届かない場合は問合せ先へご連絡ください。

【受講確定】 申込先着順に「内定通知」のご連絡をさせていただきます。

受講料は「内定通知」に記載の手順で振込期限内にお振込みください。

お振込み確認後に受講確定となり「受講確定」のご連絡をさせていただきます。

なお、一度納入された受講料は返還できませんので予めご了承ください。

【募集期間】 2019年12月20日(金)～2020年1月24日(金)

*申込状況により募集期間中に締切ることがございます。

*開催14日前に開催についての検討をさせて頂く場合がございますので、受講を希望される方はお早目のお申込をお願い致します。



研修No18
QRコードは
こちら

◆ 開講期間

2020年1月30日(木) 1日間 10:00 受付開始

※1月29日に 研修No17「植物生産は、植物を知ることから」が行われ、本講座はそれに引き続き実施されます。

1/30	木	10:00～	I (10:30～12:00)	昼	II (13:00～14:30)	III (14:40～16:10)	IV(16:20～17:50)
		受付	植物工場の エネルギー収支		CO ₂ 施用技術	気化冷却の活用	DM-ONEの 制御技術



人工光型植物工場

※講義の課題や日程、講師等の詳細スケジュールは今後多少変更の可能性がございます。詳細は講義初日に配布いたします。

◆ お問合せ

特定非営利活動法人植物工場研究会 (担当：戸井)

〒277-0882 千葉県柏市柏の葉6-2-1 千葉大学 環境健康フィールド科学センター

E-mail : plant-factory@office.chiba-u.jp

Tel&Fax: 04-7137-8312

2019年度植物工場
研修No18

植物工場の環境制御における原理と考え方（1月30日）

		I (10:30~12:00)	昼休	II (13:00~14:30)		III (14:40~16:10)		IV(16:20~17:50)
1/30	木	植物工場のエネルギー収支		CO ₂ 施用技術		気化冷却の活用		DM-ONEの制御技術
		受付 10:00 開講式 10:15 挨拶 受講案内	<ul style="list-style-type: none"> ・人工光型植物工場のエネルギー収支 ・自然光型植物工場のエネルギー収支 ・必要冷暖房能力と必要冷暖房機器 ・運転消費電力の推定 	<ul style="list-style-type: none"> ・CO₂濃度が光合成に及ぼす影響 ・CO₂源とその特徴 ・CO₂濃度と施用効果 ・局所施用について 	<ul style="list-style-type: none"> ・気化冷却の原理 ・細霧冷房とパッド・アンド・ファン ・効率的な気化冷却 	<ul style="list-style-type: none"> ・純光合成速度を最大にする技術 ・発達速度の制御技術 ・湿度制御技術 ・栽培植物への対応 		
		狩野 敦		狩野 敦		狩野 敦		狩野 敦

※修了式はありません。

※講義の課題や日程、講師等の詳細スケジュールは今後多少変更の可能性あります。詳細は講義初日に配布いたします